令和５年度

奈 良 市 立 看 護 専 門 学 校

社 会 人 入 学 試 験 問 題

国　語

試験時間 50 分（問題 1～17）

注意事項

１．試験開始の指示があるまで問題を開いてはいけません。
２．机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
３．係員の指示に従って、下欄及び解答用紙に受験番号と氏名を記入し、解答用紙の受験番号欄をマークしてください。
４．解答方法：選択肢（１～５）から**正解を一つ選び**、解答用紙の解答欄の該当番号をマークしてください。２つ以上マークした場合には誤りとなります。
５．マークは解答用紙の「マークの方法」の「良い例」のように濃く、はっきりと塗りつぶしてください。「悪い例」では採点されない場合があります。
６．試験中に問題の印刷不鮮明等に気付いた場合は、手を挙げて係員に知らせてください。なお、問題の内容に関する質問にはお答えできません。
７．問題の余白はメモ等に使用して構いません。
８．この問題冊子は回収します。持ち帰らないでください。

受験番号				氏　名	

第１問　次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

周知のように、松本清張・有馬頼義・菊村到・柴田錬三郎ら、いわゆる純文学系の作家が、推理小説に筆をそめだした結果、これまでの専門作家による探偵小説に、ひとつの照明が、たしかに投げられたのであった。**(ア)** 探偵小説という、私などの好きな昔なつかしい名称がすたれ、一般に推理小説という言葉が使用されはじめたのが、この現象と時を同じくしているのは、決して偶然ではなかった。Ⓐ

それは、まずあの「私は今なお二十年前に起った怪奇とも不思議とも形容しがたい、あの戦慄すべき事件を思いだすと……」式なハッタリ・プロローグの廃止から始まった。こういう言葉は、冒頭いきなり読者を、作品の世界へ誘導するために書かれていたのだが、今日の読者は、かえって、こういう書きだしには、「またか」という反発こそ感じても、もはや魅力をおぼえなくなってきている。これは、あきらかに前時代の米英探偵小説の古典からの模倣であって、まったくの通俗小説ならともかく、多少とも知的であろうとする小説を求める読者には、**（ イ ）**。

つぎに、これは横溝正史などがよく用いたシチュエーションであるが、地方の旧家にまつわる因果ばなしによって、大きな屋敷が「化物屋敷」といわれて空家になっているというような背景が、私たちには実感をもたなくなってきたことである。住宅難にあえいでいる現代の日本では、たとえ、どんな神秘な伝説があろうとも空家などというものは、リアリティをもたないのである。前記の作家たちは、こういう舞台を取り扱わず、もっと読者の身近かにある平凡な場所を舞台に求めた。

つぎにいうまでもなく、明敏神のごとき名探偵なるものを廃したことである。“探偵”というものが、私たちの周囲には存在しない。私たちの知っている探偵とは、興信所の事務員のごときもので、縁談の相手の品行をしらべたり、良人（おっと）の浮気をさぐるぐらいの用にしか役立たず、殺人事件など手がける探偵というものの存在は、私たちの実感に遠いのである。Ⓑ

これまでの日本の探偵小説は、ほとんど米英の模倣であったから、こういう日本の風土や習慣と遊離した作品であったし、読者もまた、探偵小説では、そういう非現実的な面白さで満足していたのである。**（ ウ ）**、純文学系の作家は、あくまでも日本的な現実の上に立って、「探偵小説」を書こうとし、それが、読者にも歓迎されたわけである。このことがいわゆる専門作家にも影響を及ぼさないはずはない。最近の新人は、佐野洋にしても、多岐川恭にしても、日本的な生活の中から、ストーリーを展開しようと努力している。もっとも、多岐川氏の場合は氏のディレッタンティズムのために、まだ、かなり現代日本人としては不自然な生活者が多く登場しているが。——ところで、こうした傾向が受け入れられると、専門作家も、これまでとは異った「日本的現実」のなかから物語を創造してゆかなければならない。しかし、その転換が、あまりうまく行かずに、もたついているように、素人の読者の眼には映ずる。横溝氏、大下宇陀児氏らの近作から、私はそうした停滞を感ぜずにはいられない。ヴェテランたちが転換を志しつつ、転換し得ないところからくる、このモタツキが、現在の日本の推理小説が、“曲り角”に来ているといわれる **(エ)** 第一の理由ではあるまいか。江戸川乱歩が、作品を書かないのも、そういう転換期の悩みによるのではないかと思われる。Ⓒ

第二の理由は、この、いわゆる純文学系作家の推理小説そのものに求められる。

私は、さいきんほとんど相前後して出版された以上四氏の著書を一冊ずつ読んだ。すなわち松本「真贋の森」、有馬「黒いペナント」、菊村「灰」、柴田「今日の男」の四篇（へん）である。いずれも一応の興趣をもって読み終えることができたが、すでにどの作家も推理小説に手がけた最初のころ

のような新鮮さを失い、あまりに古風な自然主義のなかに埋没せんとしつつあるか、週刊誌の要求によって多産した結果の水増しでごまかそうとしている気配である。そして、率直にいうと、自己を模倣して、マンネリズムにおちいっているといえよう。「推理」の面白さはないではないにしても、ほかの夾雑物(きょうざつぶつ)が多過ぎるのである。わずかに「黒いペナント」が、プロ野球を扱っていて現代の推理小説らしく今日の風俗を扱ってはいるものの、それだけの意味でなら「四万人の目撃者」がすでにあるし、殺人という題材の強烈さからいっても及んでいない作品である。同氏が「中央公論」(九月号)に発表している「葉山一色海岸」も、新しい境地を示すような作品ではない。Ⓓ

このような事情によって、(オ)二つの“曲り角”が、今日の推理小説には見受けられるのであるが、これを破るものとしては、まず新人に期待をかけるのが最も手取り早いであろう。そして「一本の鉛」「高過ぎた代償」「三人目の椅子」(ただしこの小説は結末がおそまつ過ぎて失望した)の佐野洋や、「天国は遠すぎる」の土屋隆夫などが、この“曲り角”を突破しそうな可能性を示してくれている。しかし、手ッ取り早い見方ではあっても、それだけでは(カ)粗雑すぎよう。いつの時代でも、新人には期待をかけられるが、また頼りないのも新人であって、ヴェテランの底力を軽視してはなるまい。ただ、正直にいって、現在の推理小説界のヴェテランが、さしあたって私たちを歓(よろこ)ばしてくれそうな予感を、私はほとんどおぼえることができない。彼らの多くは、「新青年」華やかなりし頃の「探偵小説」への郷愁から脱し得ていないのではあるまいか。Ⓔ

(十返肇「日本推理小説の曲り角」)

問題1　次の文は本文の一部である。最も適当な挿入場所はどこか。文中のⒶ～Ⓔのうちから一つ選択せよ。

いわば、これらの作家によって一言でいうならば、探偵小説のリアリズム化が行われたのであった。

1　Ⓐ　　2　Ⓑ　　3　Ⓒ　　4　Ⓓ　　5　Ⓔ

問題2　下線部(ア)「探偵小説という、私などの好きな昔なつかしい名称がすたれ、一般に推理小説という言葉が使用されはじめた」とあるが、これと時を同じく変化したものとして最も適当なものを一つ選択せよ。

1　読者を作品の世界へ誘導するための工夫が逆効果となった。
2　探偵小説の読者層として、知的であることを装う人々が増えた。
3　神秘な伝説よりも現実味のある平凡な舞台に、恐ろしさを抱くようになった。
4　現実と小説で乖離(かい)のあるキャラクターを廃止した。
5　小説における名探偵を現実の探偵に近づけ、読者の歓迎を得た。

問題３　空所（ **イ** ）に当てはまる語句として最も適当なものを一つ選択せよ。

１　重々承知していることなのである
２　まだ受け入れられていないのである
３　たいそうみっともない表現なのである
４　もはや往年の魔力をもっていないのである
５　根強い人気を保持しているのである

問題４　空所（ **ウ** ）に当てはまる語句として最も適当なものを一つ選択せよ。

１　また　　２　しかし　　３　つまり
４　そもそも　　５　なぜならば

問題５　下線部（**エ**）「第一の理由」とあるが、その説明として最も適当なものを一つ選択せよ。

１　純文学系の作家による新しいストーリー展開が、読者の共感を十分に得られていないこと。
２　日本的な現実に立った作品の創造が専門作家には受け入れられていないこと。
３　読者が求める新しい探偵小説の傾向に、専門作家が対応できていないこと。
４　純文学系作家が開拓した新しい探偵小説が、古典的な探偵小説より劣っていること。
５　専門作家が純文学系作家とは一線を画する探偵小説を生み出せていないこと。

問題６　下線部（**オ**）「二つの“曲り角”」とあるが、その内容として最も適当なものを一つ選択せよ。

１　純文学系の作家の参入と、読者の好みの変化
２　新人作家の未熟さと、ヴェテラン作家の作品のマンネリズム
３　探偵小説のリアリズム化と、リアリズム化した作品のマンネリズム
４　米英探偵小説の模倣と、探偵小説のリアリズム化
５　推理小説の内容の複雑化と、リアリズム化

問題７　下線部（**カ**）「粗雑」とあるが、本文中で使われている意味として最も適当なものを一つ選択せよ。

１　状況は改善しない
２　理論が破綻している
３　ヴェテランに対して無慈悲
４　新人に頼り切るのは危険
５　新人に期待するのは考えが甘い

問題８　本文の内容と合致する記述として最も適当なものを一つ選択せよ。

１　推理小説は退廃期に差し掛かっていると言える。
２　殺人事件や強盗などといった非日常的な題材は現代の読者に受け入れられない。
３　探偵小説と推理小説の違いは、リアリティの追求にある。
４　ヴェテラン作家たちがこれからの探偵小説を切り開くことは不可能である。
５　ヴェテラン作家たちは華やかな過去にとらわれているために曲り角を脱せられない。

第２問　次の各問いに答えよ。

問題 9　下線部の漢字の読み方が正しいものを一つずつ選択せよ。

（1）1　手術により病巣（びょうす）を摘出する。
　　2　美しい紅葉の渓谷（きょうこく）を眺める。
　　3　俊傑（しゅんけつ）が一堂に会する。
　　4　願いが成就（せいしゅう）した。
　　5　人生の意義について思索（しそう）にふける。

（2）1　部屋の中に隙間（げきかん）風が入ってくる。
　　2　とある音楽家に私淑（しじょう）する。
　　3　悲報を受けて挙措（きょせき）を失う。
　　4　一大壮図（そうず）を抱いていたが失敗した。
　　5　書類に落款（らっかん）を押す。

（3）1　様々な問題により計画が頓挫（とんざ）した。
　　2　ニュースで有名人の訃報（とほう）を知る。
　　3　桃の節句を前に内裏（ないり）びなを飾る。
　　4　富士の山麓（さんれい）を歩く。
　　5　脚立（きゃくりつ）に乗って掃除する。

問題 10　下線部の漢字が正しいものを一つずつ選択せよ。

（1）1　家蓄を飼育する。
　　2　青春を享楽する。
　　3　突然の出来事にひどく混惑する。
　　4　自態の好転をはかる。
　　5　進化の課程を調査する。

（2）1　この本はストーリーが陳付でつまらない。
　　2　不足の事故に巻き込まれる。
　　3　試合が延長戦に突入した。
　　4　己の実力を固示する。
　　5　動物を愛護する。

（3）1　銃で敵を阻撃する。
　　2　増賄の罪で捕まる。
　　3　反乱軍を討閥する。
　　4　大臣の去就に注目が集まった。
　　5　結婚を交表する。

（4）1　毎朝のジョギングを日科としている。
　　2　代替案の検当を進める。
　　3　彼女は養互教諭として着任した。
　　4　殊勝な態度が一変する。
　　5　そのニュースは即報で伝えられた。

問題 11　次の下線部と同じ漢字を使うものを一つずつ選択せよ。

（1）ジョウ理にかなった手法をとる。

1　土地をジョウ渡する。

2　ジョウ緒が不安定になる。

3　友人のジョウ長な話に退屈する。

4　過ジョウに反応する。

5　要点を箇ジョウ書きにする。

（2）決算のフン飾が明らかになる。

1　世界にはいまだフン争の絶えない地域が存在する。

2　足首をフン砕骨折する。

3　気まずいフン囲気を察知する。

4　不満が一気にフン出する。

5　給料日にフン発して高い買い物をする。

（3）借金の返済を催ソクする。

1　植物の成長をソク進する。

2　解説を補ソクする。

3　仕事の合間に休ソクをとる。

4　経済が急ソクに発展する。

5　難しい問題にソク答する。

問題 12　次のうち「知己」の同意語として正しいものを一つ選択せよ。

1　由来　　2　無恥　　3　黙許　　4　親友　　5　未知

問題 13　次のうち「緊張」の反意語として正しいものを一つ選択せよ。

1　温和　　2　繊細　　3　優美　　4　静寂　　5　弛緩

問題 14　次の語句の意味として正しいものを一つずつ選択せよ。

（1）　カジュアル

1　元気を回復すること、させること。

2　一定の地域に居住し、共同体意識を持つ人々の集団。

3　気軽にくつろいだ感じであるさま。

4　ある主題での（参加者が知識・体験を分け合う）研究集会。

5　違いを吸収して全体を均一化すること。

（2）　出藍の誉れ

1　意外なところから意外なものが出ること。

2　相手を立てること。

3　弟子が師匠の実力を追い抜くこと。

4　焦らずに待っていれば良い時機がやって来るということ。

5　大変に親密な友情関係のこと。

（3）　一寸の虫にも五分の魂
1　他を顧みず、自分の都合ばかりを考えているようす。
2　どんなに小さく弱いものにも相応の意地があるのだから侮ってはならないということ。
3　胸がむかついてくるほど不快である。
4　根拠がないのに、何となく心に感じる不吉なこと。
5　今にも止まりそうな弱々しい息。
（4）　傍若無人
1　人前であるにもかかわらず、自分勝手な振舞いをすること。
2　自分の考えを遠慮なく言うこと。
3　自分に主義・主張がなく、節操もなく他人の意見に同調すること。
4　すてばちな態度や、やけくそな行動のこと。
5　自分で、自分の発言や行為をほめること。
（5）　換骨奪胎
1　親子兄弟など肉親同士が争うこと。
2　互いに励ましあって鍛錬や修行をすること。
3　骨身を惜しまず、全力を尽くして事に当たること。
4　外見や外形はもとのままで中身だけを取り換えること。
5　物事のなりゆきやようすが急に変わること。

問題 15　次の意味を表す言葉として正しいものを一つずつ選択せよ。
（1）　歴史的・社会的立場に基づいて形成される基本的なものの考え方。
1　エンパワーメント
2　イデオロギー
3　コンプライアンス
4　パノプティコン
5　ヒューマニズム
（2）　かつてしっかり鍛えた技術だから、腕に覚えがあり、自信があるというたとえ。
1　焼きを入れる
2　相槌（あいづち）を打つ
3　獅子（しし）の子落とし
4　鉄は熱いうちに打て
5　昔取った杵柄（きねづか）
（3）　今にもだめになりそうな物事を、立て直すこと。
1　起死回生
2　一気呵（か）成
3　栄枯盛衰
4　無我夢中
5　我田引水

問題 16　下線部の言葉の使い方が正しいものを一つ選択せよ。

1　破天荒な息子にほとほと手を焼いている。
2　あなたの実力ではプロの選手にはなれないと引導を渡した。
3　上司は声をあらげて部下を叱責した。
4　素晴らしい采配を振るう監督を誰もが絶賛した。
5　いったん店をたたんで新規巻き直しをした。

問題 17　次の記述に当てはまる人物として正しいものを一つ選択せよ。

この小説家は、明治 32 年生まれである。横光利一らと「文芸時代」を創刊し、新感覚派の代表作家として活躍した。以後、日本的美意識を追求し続け、昭和 43 年にノーベル文学賞を受賞したが、昭和 47 年に自殺した。「雪国」「千羽鶴」「山の音」「みづうみ」など多数の作品がある。

1　正岡子規
2　谷崎潤一郎
3　志賀直哉
4　森鴎外
5　川端康成